

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 4年 3月 24日

事業所名 7th Sense 高槻上牧駅前 保護者等数(児童数) 39 回収数 36 割合 92 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	3	0	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	31	2	0	3		職員研修を通じて、専門性の向上に努めてまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	12	4	7		多機能トイレ・廊下の手すり・施設内はバリアフリーとなっております。何かお気づきの点ありましたら、お知らせください。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	35	0	0	1		施設での様子だけでなく、家庭・学校等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成して参ります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	28	6	0	2		お子様の状況に合わせて様々なプログラムを提供できるように取り組んでまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	7	11	15		現在、放課後等児童クラブや児童館等との交流の機会はございませんが、柔軟に対応したいと考えております。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35	1	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33	2	0	1		普段からお子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	3	0	0		定期的な面談以外でもご相談を受けてつけておりますので、どうぞお声掛けください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	7	15	12		現在、交流会は設けておりません。保護者の方へ必要な情報を個々に提供できるよう努めてまいります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2	0	20		苦情やご意見があった場合には真摯に速やかに対応して参ります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	0	0	2		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	3	1	12		ブログ等で積極的に活動に関する発信を行うように努めます。
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	28	4	0	4		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	3	1	6		避難確保計画は事務所にどなたでもご覧いただける場所に設置しております。利用者である子どもも含めた避難について建物の外に出るまでのシミュレーションは適宜実施してまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	3	6	22		職員による避難計画等を定期的の実施しております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	33	3	0	0		楽しく通所していただきありがとうございます。
	18 事業所の支援に満足しているか	31	4	0	1		支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月24日

事業所名 7th Sense 高槻上牧駅前

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		スペースの広さだけでなく、訓練室の構造も子どもに合わせて使用できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切である	○		適切に配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		待機場所とレッスンを行う部屋を分けているため、気持ちの切り替えがしやすい環境を提供している。また、レッスンの部屋の中も可能な限り刺激の少ないよう整備しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議により話し合いの機会を持っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1回アンケートを実施し、いただいた意見をサービス向上につなげられるように努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は実施しておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		全体研修や会議において資質向上のための時間を確保しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的に会議で情報共有を行い、計画の作成をしております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		指導に関わる全てのスタッフの意見を参考に作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		複数の指導員で担当し、かつ子どもの状況に合わせて変化させています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	個別支援のため、曜日によっての支援内容の変更は基本的にはございません。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している		○	原則個別療育指導の為、集団活動を行うことはほとんどありません。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		レッスンの準備の際、適宜打ち合わせを行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		レッスンの中で気になった点について会議の有無にかかわらず適宜共有しています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		報告書にて支援の振り返りと共有を行っています。特記事項については追加で口頭にて共有しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、その都度達成度の確認と内容の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインを元に支援内容の検討を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		日常のレッスンの情報を共有した上で児童発達支援管理責任者が会議に参画しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との情報共有は十分とは言えないので、今後、積極的に連携を行っていきたくと考えております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等は現在利用されておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前に利用していた事業所等との情報共有は十分とは言えないので、今後、積極的に連携を行っていきたくと考えております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現時点で障害福祉サービスへの移行された利用者の方がいらっしゃらないので、連携は行っておりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関との連携は十分ではないので、今後積極的に連携をとっていきたくと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在交流の機会をほとんど持っておりませんが、今後前向きに検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		地域自立支援協議会への参加はできておりません。地域の子ども・子育て会議(高槻市事業所連絡会児童部会)へは参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		ご利用ごとにLINEメッセージにて、具体的な支援内容や発達の状況を伝え、共通理解を持てるように努めております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		お子様への対応方法についての支援を適宜行っております。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に読み合わせを行い、疑問点が残らないように説明を行っております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談には随時受け付けております。相談内容にあった助言・支援を行うよう務めております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者同士の連携の支援は行っておりません。希望が多ければ今後検討いたします。

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもや保護者に対して、相談や申し入れに対する対応体制があることを伝えております。相談は随時受け付けております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	会報の発行は行っておりませんが、HPやLINEメッセージを活用して活動についての情報発信を行ってまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報のファイルは鍵のついている棚に保管しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		情報伝達のための伝え方のスキル向上や、必要に応じて電子機器等も利用してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域に開かれた事業はできておりません。今後要望がございましたら検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員には研修で周知できていますが、保護者の方への周知で不十分な点は改善して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年1回以上、虐待についての認識を深められるように研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束に関しては、どのような場合に行うか、また行った際の対応を保護者に説明をした上で、放課後等デイサービス支援計画に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事の提供は行っておりません
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの内容をまとめ、全スタッフで共有している。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 7th Sense 高槻上牧駅前 保護者等数(児童数) 14 回収数 14 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	13	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切である	14					職員研修を通じて、専門性の向上に努めてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14					多機能トイレ・廊下の手すり・施設内はバリアフリーとなっております。何かお気づきの点ありましたら、お知らせください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	14					施設での様子だけでなく、家庭・園等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成して参ります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13			1		お子様に必要な支援項目を設定し、具体的でわかりやすい支援内容の設定に努めてまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	14					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	1	6	2		現在、園等との交流の機会はありませんが、柔軟に対応したいと考えております。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	14					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	14					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	8	1	2	3		レッスンの振り返りの際、家庭での支援の方法についてもお伝えして参ります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	2				普段からお子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	12	1			ちょっとしたことでも相談どうぞ、という雰囲気であればとても嬉しいです	定期的な面接以外でもご相談を受けてつけておりますので、どうぞお声掛けください。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている		1	8	5	・保護者同士の連携は要らない ・保護者会や学びの場等あれば嬉しい	現在、交流会は設けておりません。保護者の方へ必要な情報を個々に提供できるよう努めてまいります。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2	1			11	契約時に相談や申入れについて一通りのご説明は行っております。相談に関してはいつでもお声掛けいただければ幸いです。
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	12	1			1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	個人情報の取扱いに十分注意されている	12	1		1		
非常時等の 対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	14					避難確保計画は事務所にどなたでもご覧いただける場所に設置しております。利用者である子どもも含めた避難について建物の外に出るまでのシミュレーションは適宜実施してまいります。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3			11		職員による避難計画等を定期的実施しております。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしている	14				子どもは楽しく通っていて、レッスンによる成長も確認できるので満足している。	楽しく通所していただきありがとうございます。
	22	事業所の支援に満足している	14				他の施設を知らないが、少し業務的かな？と感じることもある。	支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		スペースの広さだけでなく、訓練室の構造も子どもに合わせて使用できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		適切に配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		待機場所とレッスンを行う部屋を分けているため、気持ちの切り替えがしやすい環境を提供している。また、レッスンの部屋の中も可能な限り刺激の少ないよう整備しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日清掃を行い、活動がしやすい環境を整えています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		会議により話し合いの機会を持っております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に1回アンケートを実施し、いただいた意見をサービス向上につなげられるように努めております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価は実施しておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		全体研修や会議において資質向上のための時間を確保しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的に会議で情報共有を行い、計画の作成をしております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		支援に必要な項目を支援内容に設定しております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		指導時の内容を考える指針とし、実際の支援に反映させています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		指導に関わる全てのスタッフの意見を参考に作成しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		複数の指導員で担当し、かつ子どもの状況に合わせて変化させています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか		○	原則個別療育指導の為、集団活動を行うことはほとんどありません。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		レッスンの準備の際、適宜打ち合わせを行っております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		レッスンの中で気になった点について会議の有無にかかわらず適宜共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		報告書にて支援の振り返りと共有を行っています。特記事項については追加で口頭にて共有しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、その都度達成度の確認と内容の見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		日常のレッスンの情報を共有した上で児童発達支援管理責任者が会議に参画しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて関係機関との情報共有を行っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等は現在利用されておられません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等は現在利用されておられません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との連携は今後積極的に行っていきたいと考えております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学校の先生との連携の幅を少しずつ広げ、情報共有を密に行っていけるよう努めてまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	専門機関との連携は十分ではないので、今後積極的に連携をとっていききたいと考えております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在交流の機会をほとんど持っておりませんが、今後前向きに検討してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	協議会子ども部会へは現在参加ができておりません。地域の子ども・子育て会議(高槻市事業所連絡会児童部会)へは参加しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご利用ごとにLINEメッセージにて、具体的な支援内容や発達の状況を伝え、共通理解を持てるように努めております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		お子様への対応方法についての支援を適宜行っております。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に読み合わせを行い、疑問点が残らないように説明を行っております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		記載事項の内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談には随時受け付けております。相談内容にあった助言・支援を行うよう務めております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者同士の連携の支援は行っておりません。希望が多ければ今後検討いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		子どもや保護者に対して、相談や申し入れに対する対応体制があることを伝えております。相談は随時受け付けております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	会報の発行は行っていませんが、HPやLINEメッセージを活用して活動についての情報発信を行ってまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報のファイルは鍵のついている棚に保管しております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		情報伝達のための伝え方のスキル向上や、必要に応じて電子機器等も利用してまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域に開かれた事業はできておりません。今後要望がございましたら検討してまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		職員には研修で周知できていますが、保護者の方への周知で不十分な点は改善して参ります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に訓練を実施しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		施設利用開始時に確認をとっております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事の提供は行っておりません
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの内容をまとめ、全スタッフで共有しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年1回以上、虐待についての認識を深められるように研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束に関しては、どのような場合に行うか、また行った際の対応を保護者に説明をした上で、児童発達支援計画に記載しています。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。